

1. 調査の概要

1.1 概要

平成 19 年（2007 年）能登半島地震（以下、平成 19 年能登半島地震とする。）にあたって、国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所の連携により、地震発生日（平成 19 年 3 月 25 日 9 時 42 分頃）から 5 月 4 日までの間に実施した現地調査の概要は以下の通りである。

なお、なお、各調査は両研究所職員以外の協力者と実施しているが、それら協力者の氏名、所属等は各章で記述する。

(1) 初動調査

地震発生日に現地入りし、被害状況の概況調査を行った。

日 時：平成 19 年 3 月 25 日（日）～27 日（火）

場 所：石川県輪島市、七尾市、穴水町

体 制：国土技術政策総合研究所

建築研究部 基準認証システム研究室主任研究官 榎本敬大

独立行政法人建築研究所

国際地震工学センター上席研究員 斉藤大樹

(2) 地震動調査

余震観測（強震計の設置（観測期間は 3 月 28 日～5 月 1 日））、地震動関係情報の収集を実施した。

日 時：平成 19 年 3 月 28 日（水）～29 日（木）

場 所：石川県輪島市

体 制：独立行政法人建築研究所

構造研究グループ上席研究員

小山信

国際地震工学センター主任研究員

鹿嶋俊英

(3) 非構造部材被害調査（一次）

天井の被害事例を中心に、非構造部材の被害調査を実施した。

日 時：平成 19 年 3 月 28 日（水）～30 日（金）

場 所：石川県金沢市、加賀市、七尾市、志賀町

体 制：国土技術政策総合研究所

建築研究部 構造基準研究室主任研究官

西田和生

同 基準認証システム研究室主任研究官

石原 直

独立行政法人建築研究所

建築生産研究グループ研究員

脇山善夫

(4) 木造被害調査

戸建て木造住宅を中心として、住宅の構法と被害の特徴に関する詳細調査を実施した。

日 時：平成19年3月29日（木）から4月2日（月）

場 所：石川県輪島市、七尾市

体 制：国土技術政策総合研究所

建築研究部 基準認証システム研究室主任研究官	樋本敬大
独立行政法人建築研究所	
構造研究グループ上席研究員	河合直人
同 交流研究員	村上知徳
材料研究グループ主任研究員	山口修由
同 研究員	中川貴文

(5) 非構造部材被害二次調査及びS造被害調査

一次調査で見ることができなかった地域の非構造部材の被害調査と、鉄骨造建築物の被害調査を併せて実施した。

日 時：平成19年4月9日（月）から11日（水）

場 所：石川県七尾市、輪島市、穴水町、能登町

体 制：国土技術政策総合研究所

建築研究部 構造基準研究室主任研究官	西田和生
同 基準認証システム研究室主任研究官	石原 直
独立行政法人建築研究所	
国際地震工学センター主任研究員	長谷川 隆
建築生産研究グループ研究員	脇山善夫

(6) 基礎・地盤被害調査

被災地における住宅等の基礎や擁壁の被害調査と、表面波探査等による地盤調査を実施した。

日 時：平成19年5月2日（水）から4日（金）

場 所：石川県輪島市、穴水町

体 制：独立行政法人建築研究所

国際地震工学センター上席研究員	田村昌仁
建築生産研究グループ主任研究員	平出 務